

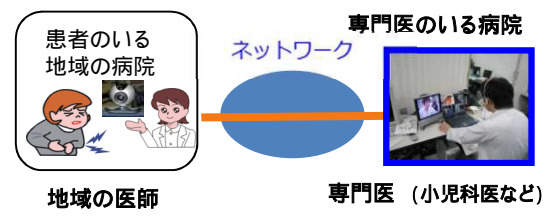
遠隔医療について (No.1)

医師-医師間 (D to D)

遠隔相談

【概要】画像を見ながら遠隔地の医師との症例検討を行うなど、医師等に指導を行う。

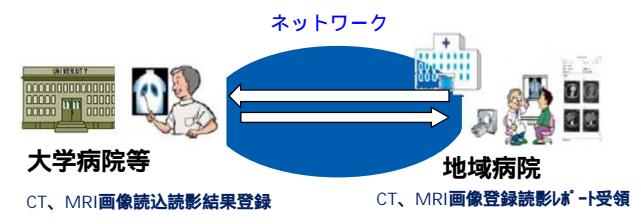
【効果】医療の地域間格差の解消、患者やその保護者などの安心感向上につながる。



遠隔画像診断

【概要】X線写真やMRI画像など、放射線科で使用される画像を通信で伝送し、遠隔地の専門医が診断を行う。

【効果】専門医による高度で専門的な診断を受けられる。

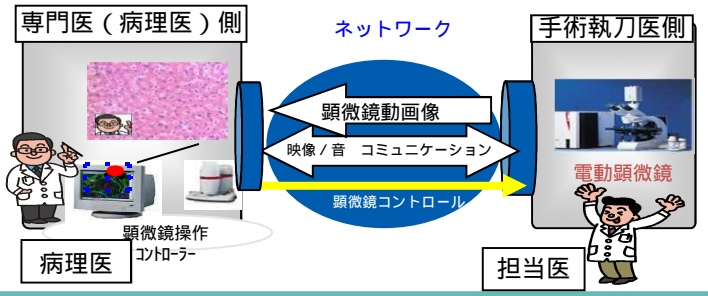


医師-医師間 (D to D)

遠隔病理診断

【概要】体組織の画像や顕微鏡の映像を送受信するなどし、遠隔地の医師が、特に手術中にリアルタイムに遠隔診断を行う。

【効果】リアルタイムで手術範囲の決定など専門医の判断を仰ぐことができる。



医師-患者間 (D to P、D to P with N 等)

遠隔診療 (オンライン診療)

【概要】医師 - 患者間において、情報通信機器を通して、患者の診察及び診断を行い診断結果の伝達や処方等の診療行為をリアルタイムで行う。

【効果】医療に対するアクセシビリティを確保し、よりよい医療を得られる機会を増やすことができる。

